



新みなとターミナルの竣工式でテープカットをする来賓の皆さんと市長

九じろうの取材日記

佐世保市
幼児教育センター

同センターは、乳幼児の健全な育成を目指し、幼児教育の研修や子育て支援などの場として、昨年4月、白南風小学校（山祇町）の敷地内に開設されました。

子育て中の人たちをサポート木の優しい香りと元気な子どもたちの声が出迎えてくれる同センターには、幼稚園や保育所、保護



同センターの1階には白南風幼稚園があり、子どもたちの元気な声が聞こえます



乳幼児のおやつや食事などの調理実習ができる調理室

子育てなどに関する情報を入手することができるパソコン室



子育て支援のボランティアの人と一緒に遊んだり、育児などについて言葉を交わす親子

者など幼児にかかわる人が研修や会議に利用できる大・小の研修室や調理室があります。また、就学前の乳幼児が親子で自由に遊ぶことのできる遊びのコーナー、パソコン室などがあるほか、専任の相談員が子育てに関する相談にも応じています。



PUBLIC RELATIONS SASEBO



「家族との楽しい食卓は、消化液の分泌をよくしたり、ストレスを減らすなど心の栄養になる」という岸川さんの話に大きくうなずく参加者

体だけでなく、心にも栄養を
昨年11月26日、同センター内の研修室で、管理栄養士の岸川佳代子さんを講師に「心の栄養大丈夫！」と題して、子どもの食を考える講演会が開催されました。会場には育児中の母親など60人近くの参加者が集まり、岸川さんの話に熱心に耳を傾けていました。
岸川さんは、現代と戦後の食糧難の時代の食生活を比較し、「現代は飽食の時代と言われますが、必要な栄養素が十分に取れない偏った食生活をしているため、心と体がうまく機能しない。現代型栄養失調」の人が増えています」と話しました。さらに、「食卓での家族の会話や心の触れ合いなどを通じて人間関係を学び、豊かな心育てることが大事で、食べるということは、体の栄養だけでなく心の栄養にもなります」と食育

（食生活にかかわる子どもたちへの教育）の重要性についても話しました。
その後、参加者自らが日常の食生活について見直すため、シールと表を使った食生活の自己診断を行い、参加者同士で活発に意見を交換し合う場面もありました。
会場の隣では子どもたちの声が
参加者からは「会場の隣室で託児してもらえると、親は集中して話を聞くことができ、また子どもは安心して遊ぶことができるのでいいですね」との声が。
同センターでは、今後も乳幼児に関する講演会や調理実習など、さまざまな企画を予定しています。
お尋ね
佐世保市幼児教育センター
TEL 0956-24-1111



編集長から一言

久しぶりに佐世保を訪れる人は、まず佐世保駅周辺の変わりように驚くようです。今回あらためて駅周辺を歩いてみて、洗練された新しい街が生まれると感じました。これからどのような街になっていくか楽しみです。皆さんも散歩がてらに行ってみませんか？（K）



広報させぼ 編集長「キューちゃん」



広報 No.638

させぼ

特集 佐世保駅周辺再開発事業 心やさしい海辺のまちへ 2~5p

| 今月の主な内容 | |
|--------------------|--------|
| 市長年頭のごあいさつ、定例市議会など | 6~9p |
| 平成14年度決算報告 | 10~11p |
| 市民の広場、イベント | 12~13p |
| 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド | 22~23p |
| 九じろうの取材日記 | 24p |